

ご依頼主

エクレール株式会社 様

発行日: 平成29年3月1日

試験結果報告書

1. 試験品

エクレールフレッシュR

2. 試験内容

室内オゾン濃度測定

3. 試験期間

2017/02/21～2017/02/22

4. 試験概要および方法

1) 試験概要

試験室内にて試験品を作動させ発生するオゾン量を経時的に測定する。

2) 測定方法

- ・試験室内にて試験品稼働させ、稼働直後から12時間後まで毎分ごとのオゾン濃度および室内温度を測定した。(装置およびセンサー設置場所については試験室詳細を参考)
- ・オゾン濃度の測定記録はオゾン測定装置の伝送出力を使用し、電流ロガーにて記録しオゾン濃度に変換した。(0ppmの時4mA、1.00ppmの時20mAを出力)
- ・測定開始後1分以内に試験室を退出以外、試験室の換気回数は無しとした。
また試験室のエアコンは使用せず、室内はオイルヒーターでの暖気のみとした。

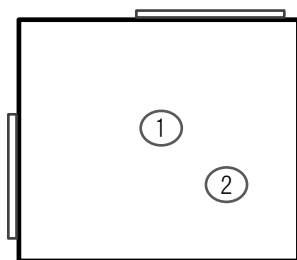
3) 使用機器類

- ・オゾン測定装置(株式会社アプリアクス / OZG-EM-010K)
- ・電流ロガー(LASCAR / EL-USB-4)
- ・温度ロガー(fourtec / LITE5032P)

*機器名(メーカー名 / 型式)

4) 試験室詳細

- ・室内容積 : 28.6m³ (W3.5m×D3.4m×H2.4m)

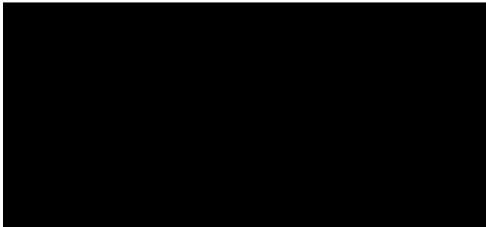


①試験品
(検査室中心、床上70cm)

②オゾン測定装置センサー部
(①より100cm離れた床上30cm)

ご依頼主

エクレール株式会社 様



発行日: 平成29年3月1日

試験結果報告書

5.試験結果

試験結果を表1及び図1に示す

表1

	オゾン濃度	室温①	室温②
平均値	0.01ppm	11.1℃	12.4℃
最小値	0.00ppm	10.0℃	11.3℃
最大値	0.01ppm	15.7℃	17.7℃

室温①:試験品部 / 室温②:センサー部

図1

